

# キャンプ砂防2022 in 立山

紹介はキャンプ砂防2018in立山  
(2018年8月20日～23日)の記録です。

## 立山砂防管内 位置図



## 立山カルデラ全景



キャンプ砂防in立山では砂防に対する意識、知識の向上をさらに図ってもらうと共に、厳しい自然環境の中での砂防事業の必要性を学んでもらうことを実施目標としています。

「キャンプ砂防2022in立山」は立山カルデラ内の砂防工事の体験をはじめとし、地域行政との意見交換会等も計画しています。

8月20日(月)

開講式



地域行政紹介



舟橋貴之立山町長による説明

8月21日(火)

現場視察(立山カルデラ内)



トロッコ乗車



白岩砂防堰堤(重要文化財)

8月22日(火)

現場体験(立山カルデラ内)



コンクリート打設



トロッコ軌道枕木交換

8月23日(水)

閉講式



主な実施内容

# キャンプ砂防2022 in 立山

紹介はキャンプ砂防2018in立山  
(2018年8月20日～23日)の記録です。

## ■「カリキュラム」■

8月20日 (月)	(9:19 立山駅着)		
	9:30～10:00	各自集合・受付	カリキュラム等説明
	10:00～10:20	(オリエンテーション) レポートテーマ等について	
	10:30～11:00	開講式 挨拶、キャンプ砂防学生自己紹介	
	11:00～11:30	事業紹介 事務所紹介、砂防事業説明等	
	12:00～12:30	(昼食)	
	12:30～16:00	地域行政紹介	
	(12:30～13:30)	(移動)事務所	→ 富山市
	(13:30～14:00)	富山市(地域行政紹介)	
	(14:00～14:45)	(移動)富山市	→ 立山町
	(14:45～15:15)	立山町地域(地域行政紹介)	
	(15:15～15:45)	(移動)立山町	→ 事務所
	15:45～16:30	立山カルデラ砂防博物館視察	

8月21日 (火)	7:30	集合	予定確認等
	7:55発	立山カルデラ視察	トロッコ案内
	9:40	水谷出張所着	
	10:00～12:00	水谷出張所周辺視察(白岩砂防堰堤→六九谷展望台 → 立山温泉跡 → 泥鎗池)	
	12:00～13:00	(昼食)	
	13:00～13:30	砂防工事現場体験① 天涯の湯 清掃	
	13:30～14:30	水谷出張所周辺視察 “水谷コンクリートプラント見学 → 天涯の水(休憩)”	
	14:45～15:15	砂防現場体験② H30滝谷第1号砂防堰堤工事 (ICT施工見学)	
	15:30～16:30	砂防現場体験③ H30兎谷第2号砂防堰堤工事 (ドローンによる写真撮影体験)	
	16:30～17:00	移動	工事現場 → 水谷出張所
	18:00～	交流懇親会	水谷出張所、工事関係者

8月22日 (水)	8:30	移動	水谷出張所発
	9:00～9:45	砂防現場体験④ H30湯川第13号砂防堰堤工事 (コンクリート打設体験)	
	9:45～10:00	移動	
	10:00～11:00	砂防現場体験⑤ H30有峰下流左岸山腹その他工事 (ロープ作業体験)	
	11:00～11:15	移動	
	11:15～11:45	砂防現場体験⑥ H30有峰地区渓岸対策(多枝原谷)工事	
	11:45～12:00	移動 工事現場 → 水谷出張所	
	12:00～13:00	(昼食)	
	13:00～14:00	移動	水谷出張所 → 工事現場
	14:00～15:30	砂防工事現場体験⑦ H30砂防専用軌道保線補修工事(枕木交換)	
	15:30～16:00	移動	“天鳥 → 事務所”

8月23日 (木)	8:00～11:00	立山登山(室堂)	
	11:00～12:00	報告書作成	成果とりまとめ (レポートチェック)
	12:00～13:00	(昼食) 昼食後、帰り支度	
	13:00～13:30	報告会	各自レポート発表、意見交換会
	13:30～14:00	閉講式	修了証授与、所長挨拶
	14:30～	“事務所→本宮砂防堰堤→ クリーンセンター展望台→富山駅→事務所”	



# キャンプ砂防2022 in 立山

## 【テーマ】

江戸末期に起きた大地震から始まった歴史ある砂防の地「立山カルデラ」を実際に見て、体験し、砂防事業にたいする理解を深める。

## 立山砂防事務所の砂防事業紹介

安政5年の大地震では大鷲山、小鷲山が大崩壊を起こし、その土砂が土石流となって一気に富山平野まで押し寄せ、激甚な被害をもたらしました。この災害等を契機に富山県により明治39年から砂防工事に着手、その後の頻発する洪水により多大な被害を受け続けたことから、富山県の要請により、大正15年より国の直轄事業として砂防事業を実施しています。それからまもなく100年が過ぎようとしており、国土保全施設としての歴史的価値を見出され、国の重要文化財に指定される堰堤も出ています。

砂防事業の推進により、常願寺川上流より流出する土砂の影響に起因する流域内、下流域の土砂・洪水氾濫から国民のいのち・くらしを守ります。



重要交通網が発達し、市街地化が進む富山平野



重要文化財 3堰堤

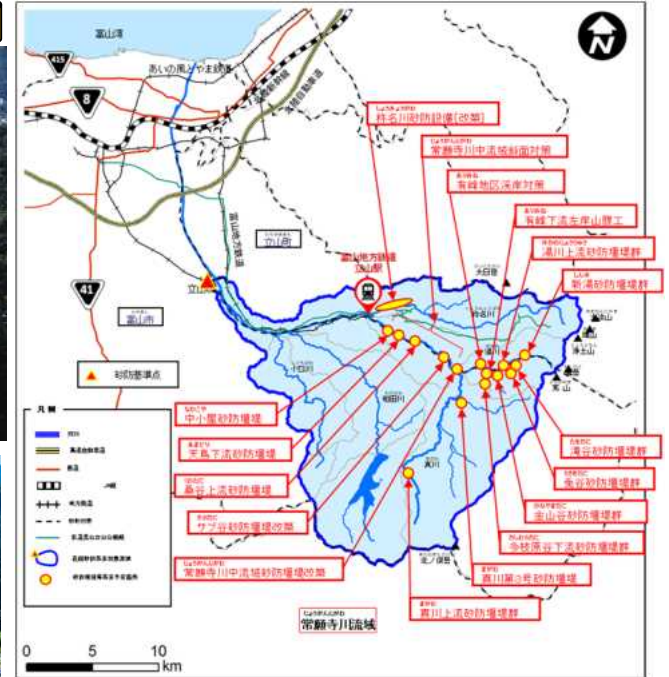
白岩砂防堰堤



本宮砂防堰堤



泥谷砂防堰堤



## 令和3年度の主な整備箇所

### 滝谷第1号砂防堰堤



### 新湯第2号砂防堰堤





# キャンプ砂防 in 黒部川

～地域観光・利用者を守り、流域の安心・安全に寄与して60年～

## 【テーマ】

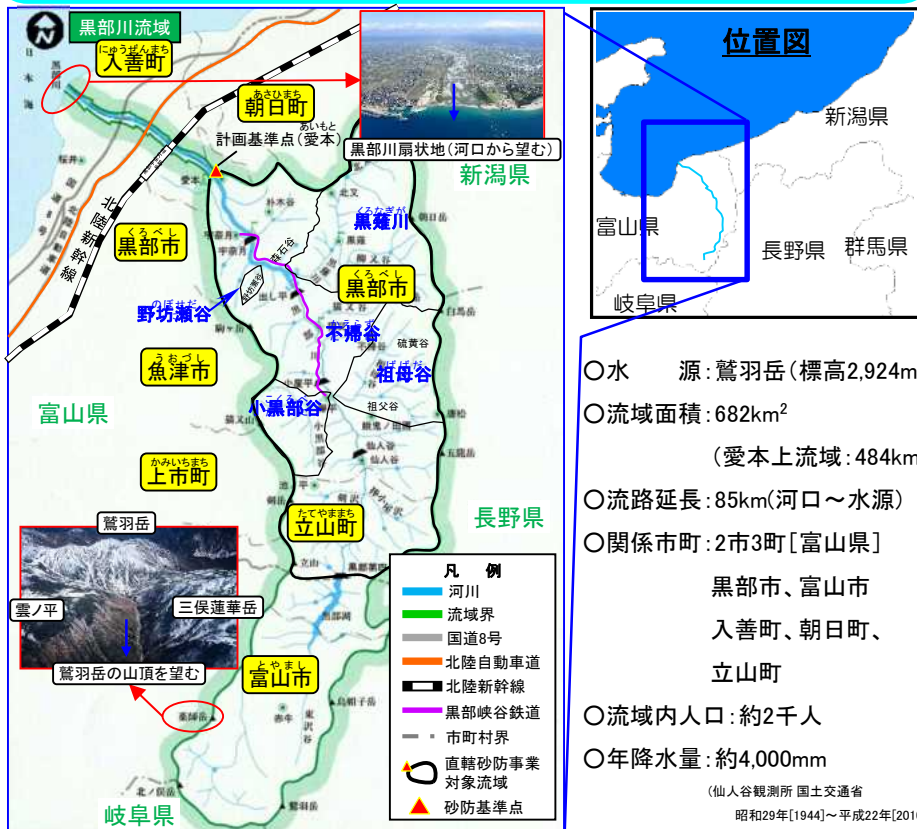
全国でも有数のV字谷である“黒部峡谷”に触れ、目を見張る自然美やトロッコ電車から黒部川の清流を体感、露天風呂・足湯を見学。黒部川の奥地で行っている“砂防”を学び、地域との共存・発展、流域の安心・安全を学ぶ。

## 【黒部川流域の概要】

富山県に位置する黒部川流域は、富山県と長野県の県境の鷲羽岳を水源に3,000m級の山々が連なる北アルプスの立山連峰と後立山連峰の間に渓谷を刻み北流し、日本海に注ぐ一級河川です。

## 【黒部川における砂防事業】

砂防事業を昭和36年度から開始し60年、幾度となく洪水氾濫や土石流による災害が発生していますが、地域の観光や流域の安心・安全のため事業を推進しています。



黒薙川第4号砂防堰堤



祖母谷第2号下流砂防堰堤



小黒部谷第1号砂防堰堤

## 【流域の観光資源】

黒部峡谷の雄大な自然、宇奈月温泉や黒薙温泉等の温泉施設、黒部峡谷鉄道のトロッコ電車などを求めて、国内外から年間約70万人（令和元年）の観光客が訪れています。



年間約33万人（令和元年）が利用する黒部峡谷鉄道のトロッコ電車



観光客でにぎわう黒部峡谷鉄道終点 樺平駅周辺の河原展望台・足湯



黒部市宇奈月町 宇奈月温泉街